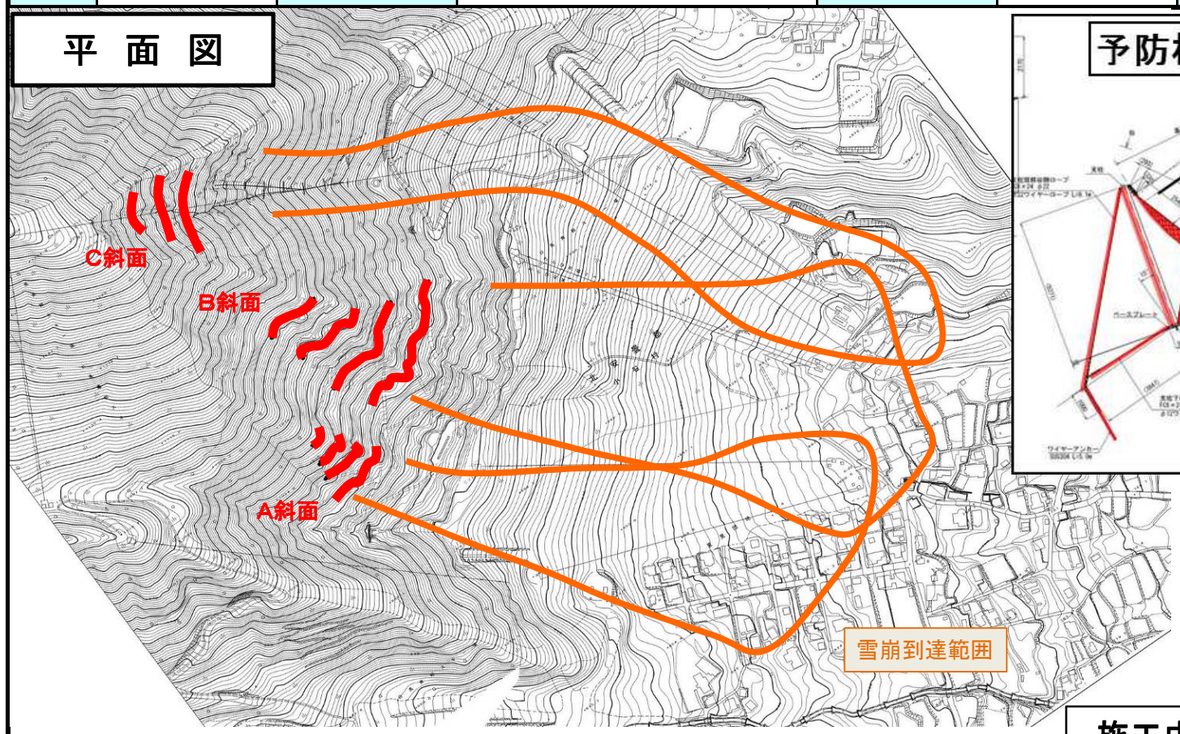
番号	2	事業名	雪崩対策	市町村名	小谷村	路河川名	里見	箇所名（ふりがな）	里見（さとみ）

平　面　図



予防柵構造図

小谷のスキー場 点検中

雪崩で男性大けが

営業開始前

三十一日午前十時五十分ごろ、北安曇郡小谷村千国の白馬コルチナ国際スキー場で、ゲレンデ外の雪崩危険個所を点検していたスキーパトロールのアルバイト野村敦朗さん（22）＝同郡白馬村北城＝が雪崩に巻き込まれ、約百五十メートル流され、ドクターヘリで松本市内の病院に運ばれ、右肩骨折や脊椎（せきつい）損傷などの大けがを負った。

スキー場を経営する奥白馬観光開発によると、野村さんは営業開始前、パトロール隊員五人で組み、ゲレンデ外の雪崩が起きやすいとみられる場所で新雪の斜面を踏んで横切り、人為的に一部の雪を落としていた。一帯は、雪崩かつの発棒（せきつい）損傷などの大けがを負った。

一緒に作業していた隊員らによ

現場
滑走禁止区域
わらび平
リフト
ホテル

危険個所を点検していたスキーパトロールの男性が雪崩に巻き込まれた現場＝31日、北安曇郡小谷村の白馬コルチナ国際スキー場

ると、野村さんが斜面を八メートル上部で雪崩が起きて、幅十メートル、長さ約百メートルの雪が流れ、野村さんの周囲に別の隊員が三、四メートル横切っていた。その際雪崩は起こらなかったという。

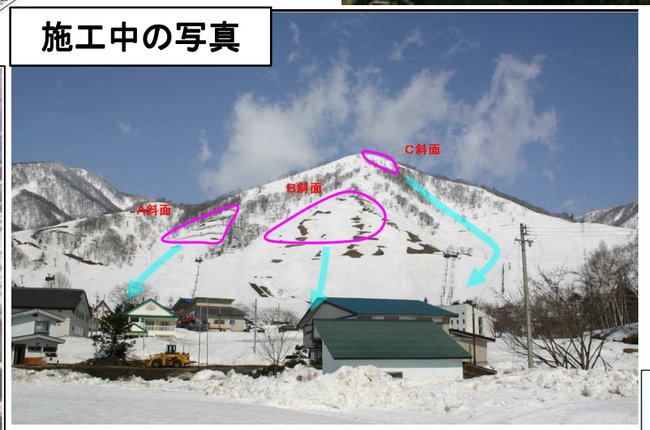
同社は、雪崩が起きた場所の下部にあるゲレンデで、一部終日閉鎖していた。他は、客が確認のため通常通り営業した。

同社は北城地域の別のスキー場にあるため、大量積雪の場合は爆発などを使って人為的に雪崩を起こすこともあるが、積雪の少ない時はスキーで発生させるのが一般的という。建設区域外に一般スキーヤーが近入って雪崩が起きて巻き込まれることもあるため「入山禁止」などの注意はしなければいけない。

昨年の大晦日に発生した雪崩事故を報道する新聞記事
信濃毎日新聞 2006.1.1

全景斜写真

施工中の写真



現在の写真